

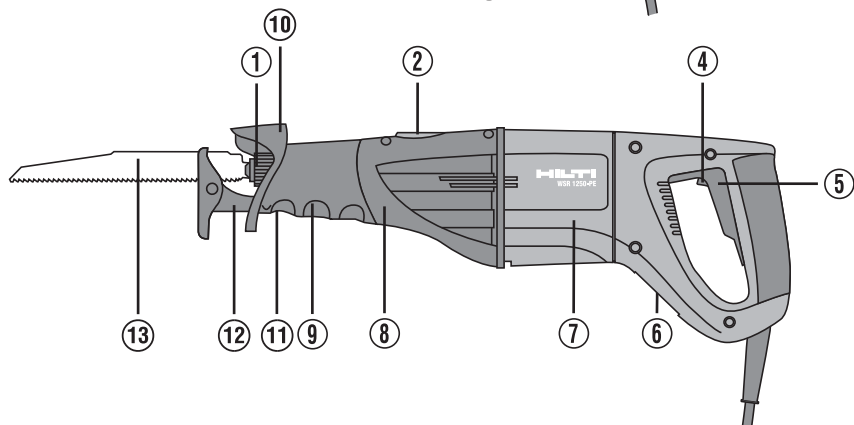
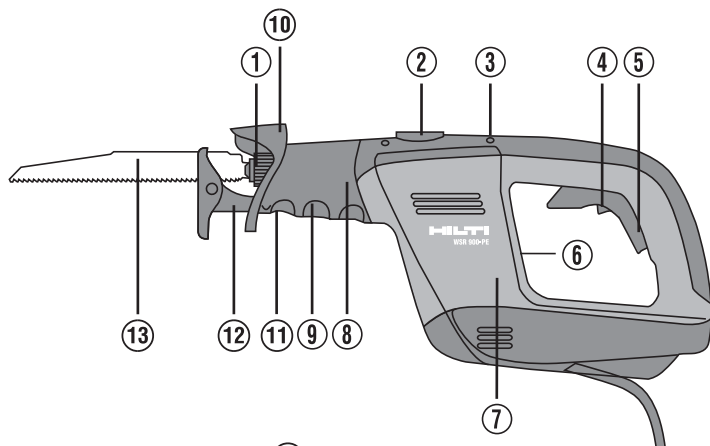
HILTI

**WSR 900-PE /
WSR 1250-PE**

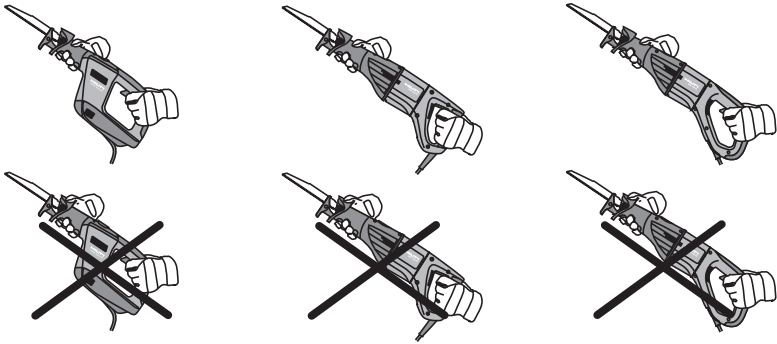
取扱説明書

ja

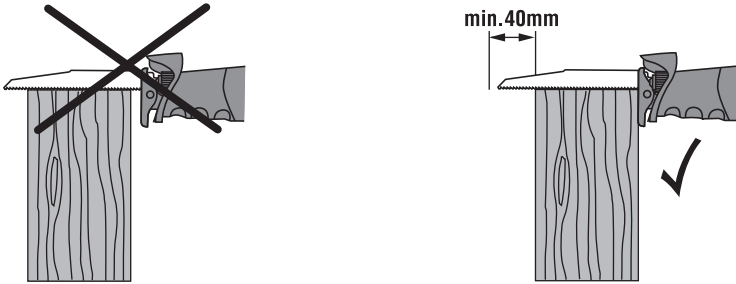




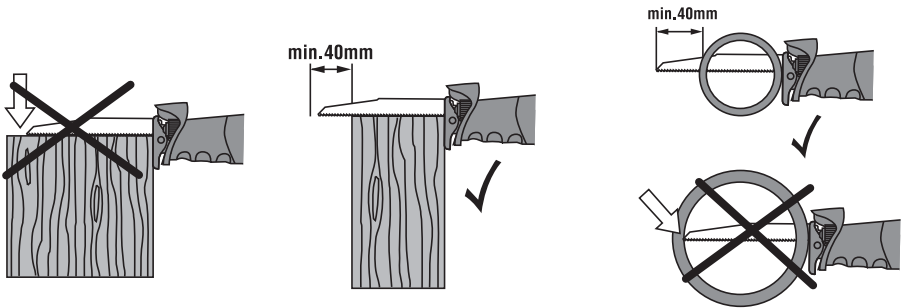
2



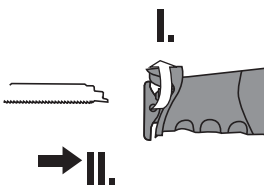
3



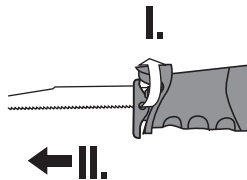
4



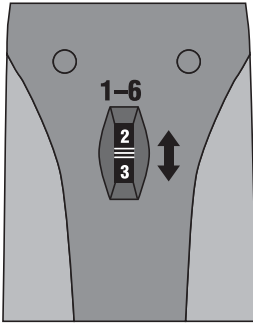
5



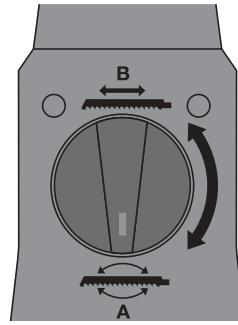
6



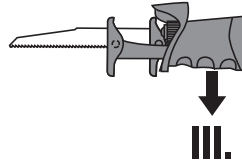
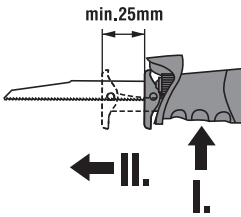
7



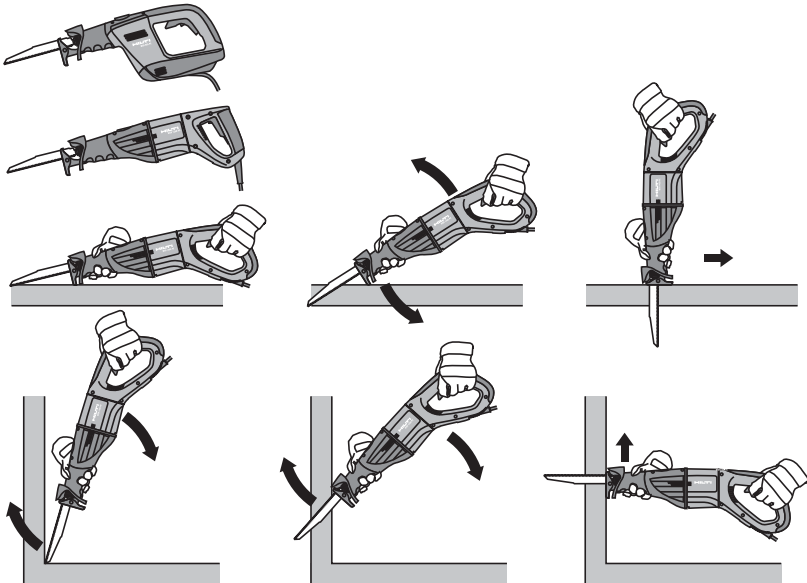
8



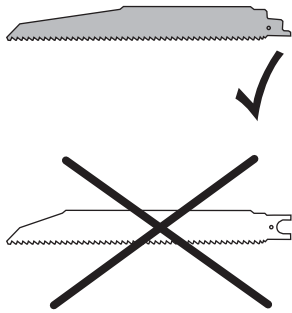
9



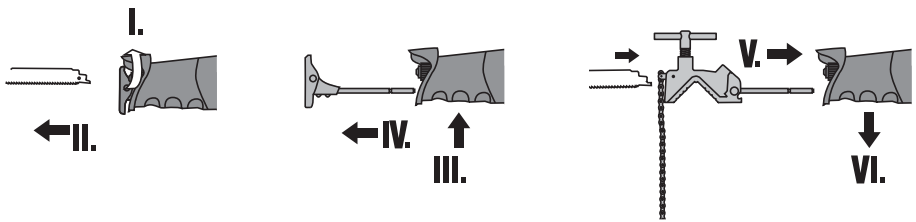
10



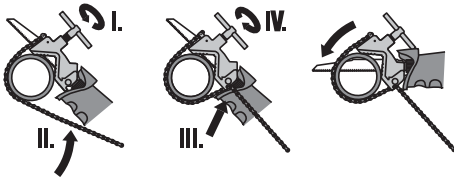
11



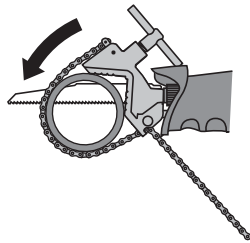
12



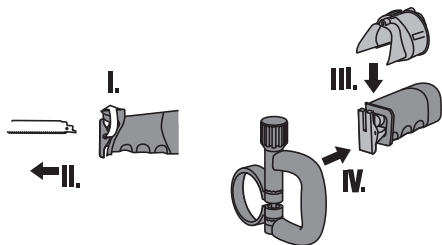
13



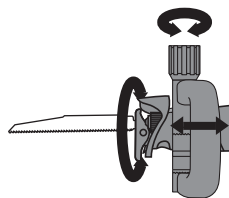
14



15



16



⚠ 警告： ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

ご使用上の注意事項は、「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他人の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないようにください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所ので、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
- 無理して使用しないでください。
 - 安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネクレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい場所では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)等の防音保護具を着用してください。

- 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続し、正しく使用してください。
- コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや力方などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に効率よく作業していたために、刃物類は常に手入れを行い、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的点検し、損傷している場合は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、としい、ビット等の付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。
- 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
- 不意な始動は避けてください。
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて連発しないでください。
 - 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャプタイアコードまたはキャプタイアケーブルの延長コードを使用してください。
- 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
- 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - 取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 電動工具の修理は専門店に依頼してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているのので改造しないでください。
 - 修理は、必ず弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

レスプロソー使用上のご注意

警告

1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
3. 使用中は、工具類（ブレードなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
4. 使用中、工具類（ブレードなど）が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどの恐れがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ブレードなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
6. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店に点検・修理を依頼してください。

注意

1. 工具類（ブレードなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
2. 工具類の交換は手袋・ウエスなどで手を保護してから行ってください。
3. 作業直後の工具類（ブレードなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
4. 工具類（ブレードなど）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。

オリジナル取扱説明書

WSR 900-PE/WSR 1250-PE レシプロソー

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず本体と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

各部名称 1

- ① ブレードクランプ/ブレードホルダー
- ② オービタル機能スイッチ
- ③ ストローク速度選択スイッチ
(WSR 900-PEのみ)
- ④ スイッチインターロック
- ⑤ 無段変速スイッチ
- ⑥ 銘板
- ⑦ モーター
- ⑧ ギア部
- ⑨ フロントエンドグリップ (ハンドガード)
- ⑩ ブレードクランプ/ブレードホルダーカバー付きハンドガード
- ⑪ プロテクトシュー調整用ロックボタン
- ⑫ プロテクトシュー
- ⑬ ソーブレード

目次	頁
1. 一般的な注意	3
2. 製品の説明	4
3. アクセサリー	5
4. 製品仕様	5
5. 安全上の注意	6
6. ご使用前に	9
7. ご使用方法	10
8. 手入れと保守	11
9. 故障かな?と思った時	12
10. 廃棄	12
11. 本体に関するメーカー保証	13
12. EU 規格の準拠証明 (原本)	13

1. 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

—警告事項—

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

—注意—

この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

—注意事項—

この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号

警告表示



一般警告事項



電気に関する
警告事項



高温に関する
警告事項

義務表示



保護メガネ
を着用して
ください



耳栓を
着用して
ください



保護手袋を
着用して
ください



粉じんの多い
作業においては、メットを着
用してくだ
さい



保護ヘル
ムを着用
してください

略号



ご使用前に
取扱説明書を
お読みください



リサイクル
規制部品です

1 この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。この説明書では、WSR 900-PE/WSR 1250-PE レシプロソーを「本体」と呼びます。

機種名・製造番号の表示箇所

機種名および製造番号は本体の銘板に表示されています。当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名：

製造番号：

ja

2. 製品の説明

2.1 正しい使用 WSR 900-PE

- 作業区域としては、レスキューサービス、公共工事、農業、林業、新築工事、改修および改築、工場、建設現場、金属構造物、配管工事、冷暖房・空調工事などが適しています。
- 本体は、木材、木製および金属製母材、プラスチックの切断に使用されます。
- 本体は乾燥した環境で使用してください。
- 本体は、必ず銘板に表示されている電圧で使用してください。
- 本体は両手操作作用として設計されています。
- 必ず取扱説明書に記載されているブレードとアクセサリのみを使用してください。



- レンガ、コンクリート、気泡コンクリート、天然石、タイルを切断しないでください。
- 湿気の多い環境では本体を使用しないでください。
- 爆発の可能性がある場所では本体を使用しないでください。
- 本体を、水滴が残っているパイプの切断に使用しないでください。
- 未知の母材には切断を行わないでください。
- 本体は規定の切断能力範囲内で、適切なブレードを取り付けて使用してください。（寸法が不適切なブレード、 $1/2$ " コネクションエンドが付いていないレスプロソーブレードを使用しないこと）。
- アスベストを含む母材に切断作業を行ってはなりません。
- 怪我を防止するため、ヒルティ純正の付属品、アクセサリのみを使用してください。
- 取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。
- 本体の加工や改造はしないでください。
- 本体はプロ仕様で製作されています。
- 本体の使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練された人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。
- 本体および付属品の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

—警告事項—

パイプ類を切断する場合は（解体および据付け工事など）、パイプ内に水滴が残っていないことを前もって確認してください。必要に応じてパイプを空にしてください。パイプを切断する場合には、本体をパイプより上の位置に保持してください。本体は耐水仕様ではありません。水滴が本体にかかることと短絡および感電が発生することがあります。

2.2 正しい使用 WSR 1250-PE

- 作業区域としては、新築工事、改修および改築、工場、建設現場、金属構造物、配管工事、冷暖房・空調工事、レスキューサービス、公共工事、農業、林業などが適しています。
- 本体は、木材、木製および金属製母材、プラスチック、レンガ、気泡コンクリート、タイルの切断に使用されます。
- 本体は乾燥した環境で使用してください。
- 本体は、必ず銘板に表示されている電圧で使用してください。
- 本体は両手操作作用として設計されています。
- 必ず取扱説明書に記載されているブレードとアクセサリのみを使用してください。



- コンクリート、天然石を切断しないでください。
- 湿気の多い環境では本体を使用しないでください。
- 爆発の可能性がある場所では本体を使用しないでください。
- 本体を、水滴が残っているパイプの切断に使用しないでください。
- 未知の母材には切断を行わないでください。
- 本体は規定の切断能力範囲内で、適切なブレードを取り付けて使用してください。（寸法が不適切なブレード、 $1/2$ " コネクションエンドが付いていないレスプロソーブレードを使用しないこと）。
- アスベストを含む母材に切断作業を行ってはなりません。
- 怪我を防止するため、ヒルティ純正の付属品、アクセサリのみを使用してください。
- 取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。

- 本体の加工や改造はしないでください。
- 本体はプロ仕様で製作されています。
- 本体の使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練された人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。
- 本体および付属品の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

－警告事項－

パイプ類を切断する場合は（解体および据付け工事など）、パイプ内に水滴が残っていないことを前もって確認してください。必要に応じてパイプを空にしてください。

パイプを切断する場合には、本体をパイプより上の位置に保持してください。本体は耐水仕様ではありません。水滴が本体にかかるとう短絡および感電が発生することがあります。

2.3 本体セット構成品：

- － ソーブレード付き本体 プロテクトシュー
- － 取扱説明書
- － 本体ケース

ja

3. アクセサリー

ソーブレード

パイプカットアダプター

サイドハンドル/サイドハンドルアダプター

4. 製品仕様

本体	WSR 900-PE	WSR 1250-PE
消費電力	900 W	1250 W
電源電圧 *	110 V/8.5 A	110 V/12.5 A
消費電流 *	120 V/8.5 A 220 V/4.3 A 230 V/4.1 A 240 V/4.2 A	120 V/12 A 220 V/6 A 230 V/6 A 240 V/5.8 A
周波数	50/60 Hz	50/60 Hz
重量(EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	3.6 kg	4.5 kg
本体寸法 (長 × 幅 × 高)	442 × 88 × 211 mm	493 × 101 × 180 mm
ストローク数	0-2700/min	0-2700/min
ストローク長	32 mm	32 mm
ストローク速度調整	可変ストローク電子回路、 6 ポジションストローク 速度選択スイッチ	可変ストローク電子回路
ブレードクランプ	キーレス、 $1/2$ " 標準ブレード用	
オービタル機能	オン/オフ	
二重絶縁 (EN 60745 準拠)	絶縁クラス II (二重絶縁) 回	

－注意事項－

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください。(例:電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

騒音／振動について（EN 60745 準拠）

サウンドパワー レベル（L _{WA} ）：	≤ 100 dB (A)	≤ 100 dB (A)
サウンドプレッシャー レベル（L _{pA} ）：	≤ 89 dB (A)	≤ 89 dB (A)

定格騒音レベル（EN 60745 準拠）に対する不確実性 3 dB

3 軸の振動値（振動ベクトル合計）	EN 60745-2-11 に準拠	
板材切断、a _{h, B}	16.0 m/s ²	22.0 m/s ²
板材切断に対する不確実性（K）	2.5 m/s ²	2.5 m/s ²
角材切断、a _{h, WB}	23.0 m/s ²	26.5 m/s ²
角材切断に対する不確実性（K）	3.5 m/s ²	3.5 m/s ²

振動吸引グリップ

* この本体は様々な電圧仕様で製作しています。銘板に記載されている本体の定格電圧と定格電力の表示を確認してください。


製品仕様は予告なく変更されることがあります。

5. 安全上の注意

注意事項

5.1 に記載された安全上の注意事項は、電動工具に関するすべての基本的な安全情報を含んでおり、準拠する規格に応じた注意事項がこの取扱説明書に記載されています。したがって、この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

5.1 電動工具の一般安全注意事項

- a)  **警告事項！安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。**安全上の注意および指示事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

5.1.1 作業環境に関する安全

- a) 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- b) 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- c) 電動工具の使用で、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

5.1.2 電気に関する安全注意事項

- a) 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラ

グは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。

- b) パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- c) 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- d) 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持って引く張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- e) 屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。
- f) 湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、漏電遮断機を使用してください。漏電遮断機を使用すると、感電の危険が小さくなります。

5.1.3 作業者に関する安全

- a) 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

- b) 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。
- c) 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および／またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン／オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- d) 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- e) 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- f) 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- g) 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

5.1.4 電動工具の使用および取扱い

- a) 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- b) スwitchに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。Switchで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- c) 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- d) 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- e) 電動工具の使用は慎重に手入れしてください。電動工具の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響

を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

- f) 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- g) 電動工具、アクセサリー、先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。この際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

5.1.5 サービス

- a) 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性維持が確実におこなわれます。

5.2 その他の安全上の注意

5.2.1 使用者に留意して頂くこと

- a) 作業の際に先端工具が隠れている電線あるいは電動工具自身の電源ケーブルに接触する可能性がある場合は、電動工具を絶縁グリップ面で保持するようにしてください。通電している電線に接触すると工具の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。
- b) 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- c) 補助ハンドル（付属されている場合）を使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
- d) 粉じんが発生する作業の場合、防じんマスクを着用してください。
- e) 休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。
- f) 本体の電源は必ず作業場に入れてください。
- g) 常に電源コード、延長コードが本体の背後にくるようにしてください。これで、作業中の落下を防止できます。
- h) 使用中に先端工具が高温になる場合があります。先端工具の交換時には、保護手袋を着用してください。
- i) 含鉛塗料、特定の種類の木材、鋳物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシやブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家

が処理を行うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、当電動工具に適したヒルティ推奨の木材／鉱物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

- j) 本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- k) 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。

5.2.2 作業場

- a) 作業場の採光に十分配慮してください。
- b) 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でないと、塵埃による汚染で健康が害される恐れがあります。

5.2.3 電気に関する安全注意事項

- a) 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。
- b) 本体の電源コードを定期的に点検し、コードに損傷がある場合は資格のある修理スペシャリストに交換させてください。延長コードを定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。作業中、損傷した電源コード、延長コードには触れないでください。不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。損傷した電源コードや延長コードは感電の原因となり危険です。
- c) 伝導性のある母材に対して作業を頻繁に行う場合は、定期的にヒルティリペアセンターに本体の点検を依頼してください。本体表面に伝導性のある粉じんや水分が付着すると、時に感電の恐れがあります。
- d) 屋外工事の場合には、必ず最大作動電流 30 mA の漏電遮断機 (RCD) を介して本体を電源に接続してください。漏電遮断機を使用すると、感電の危険が小さくなります。
- e) 原則として、作動電流が最大 30 mA の漏電遮断機 (RCD) をご使用になるよう推奨します。

5.2.4 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- a) 作業材料を固定します。作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、本体を両手で自由に操作することができます。
- b) 使用する先端工具がクランプ機構に適合し、クランプ内にしっかりと固定されていることを確認してください。
- c) 電源を切る場合は、本体のスイッチをオフしてから電源プラグを抜きます。これで、電源プラグを再びコンセントに差し込んだ時に本体が不意に始動するのを防ぐことができます。
- d) マルチソケット付延長コードに複数の装置を接続して同時に作動させることはお止めください。

5.2.5 レシプロソー特有の安全上の注意

- a) 作業切断時には必ず本体を身体から離すようにしてください。
- b) 決してソーブレードの前や上に手を差し出さないでください。
- c) 未知の母材には切断を行わないでください。切断ラインの上面と下面から障害物を取り除いてください。ソーブレードが切断面に当たった時に、本体に対して反力が作用することがあります。
- d) 本体のプロテクションを作業材料に押し当ててください。これにより、最適で安全な作業を保証することができます。
- e) 本体を持って移動する時には電源をオフにしてください。
- f) ブレードはストロークサイクル中に作業材料の端から 40 mm 以上突き出る必要があります。これにより、切断中の反動を防止することができます。
- g) 特にパイプ直径が大きいパイプカットアダプター (アクセサリー) を使用する場合は、適切な押し付け力と適度なカッティングスピードで作業してください。これにより、本体の過熱を防止することができます。
- h) 切屑が熱くなっていることがあるため、適切な保護服を着用してください。
- i) 本体は必ずハンドガードを取り付けて使用してください。
- j) 作業開始前に、作業場で発生する粉じんの危険有害度を調査してください。公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用バキュームクリーナーを使用してください。

5.2.6 個人保護用具

本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。



保護メガネを着用してください



耳栓を着用してください



保護手袋を着用してください



粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください

6. ご使用前に



—注意事項—

主電源電圧は銘板の記載と一致していなければなりません。

	—注意—
	<ul style="list-style-type: none">● ソーブレードのカuttingエッジは鋭くなっています。● Cuttingエッジで怪我をする恐れがあります。● 可動部分で怪我をする恐れがあります。● 保護手袋を着用してください。

延長コードを使用する場合、使用の目的に応じて、十分な導体断面積をもつ適切な延長コードのみを使用してください。本体の出力低下やコードの過熱が発生する恐れがあります。損傷した延長コードは交換してください。屋外工事の場合には、認可マーク付きの専用延長コードのみを使用してください。

推奨する最低導体断面積および最大コード長：

電源	導体断面積	
	1.5 mm ²	2.5 mm ²
110-120 V	20 m	40 m
230 V	50 m	100 m

6.1 ソーブレードのセット 5

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. ブレードのコネクションエンドが汚れていないか点検します。ブレードクランプの領域はいつもきれいに保ってください。必ず 1/2" コネクションエンド付きのソーブレードのみを使用してください 11。
3. ブレードクランプのロックングスリーブを反時計方向に回し、そのまま保持します。
4. ソーブレードを前からブレードクランプに押し込みます。
5. ロックングスリーブを元に戻してカチッと噛み合わせます。
6. ソーブレードを引っ張り、きちんと噛み合っていることを確認します。

6.2 ソーブレードの取り外し 6

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. ブレードクランプのロックングスリーブを反時計方向に回し、そのまま保持します。
3. ソーブレードをブレードクランプから前方に引き出します。
4. ロックングスリーブを元に戻します。

6.3 プロテクトシューの調整 9

プロテクトシューを調整することにより、ソーブレード長を最適に使用でき、また角部へのアクセスが楽になります。

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. ソーブレードを外します (6.2 を参照)。
3. プロテクトシューのロックボタンを押し、その状態を保ちます。
4. プロテクトシューをご希望の位置まで前後に動かします。
5. ロックボタンを放します。
6. プロテクトシューを引っ張り、きちんと噛み合っていることを確認します。

6.4 パイプカットアダプターの取り付け (アクセサリ) 12 13 14

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. ソーブレードを外します (6.2 を参照)。
3. プロテクトシューのロックボタンを押し、その状態を保ちます。
4. プロテクトシューを本体から前方へ引き抜きます。
5. パイプカットアダプターを本体の前部からご希望の位置まで動かします。
6. ロックボタンを放します。
7. パイプカットアダプターを引っ張り、きちんと噛み合っていることを確認します。
8. スクリュークランプを最大に開きます。
9. アダプターチェーンをパイプの周りに巻き、しっかり固定します。
—注意事項— 本体とスクリュークランプの角度は 45° にしてください。

6.5 サイドハンドルの取り付け (アクセサリ) 15

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. ソーブレードを外します (6.2 を参照)。
3. フロントグリップに上からアダプターを取り付け、アダプターを閉じます。
4. サイドハンドルを前方からアダプターに移動します。
5. 固定ネジを締めてサイドハンドルを本体に固定します。

6.6 サイドハンドルの位置決め (アクセサリ) 16

1. 不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。
2. サイドハンドルの固定ネジを緩めます。
3. サイドハンドルをご希望の位置に合わせます。
4. 固定ネジを締めてサイドハンドルを本体に固定します。

7. ご使用方法



ja

	-注意-
	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーブレードのCuttingエッジは鋭くなっています。 ● Cuttingエッジで怪我をする恐れがあります。 ● 保護手袋を着用してください。

 	-注意-
	<ul style="list-style-type: none"> ● 切断作業により、粉じんや切屑が空気中に渦巻きます。 ● 粉じんや切屑が気管、眼などを傷つけることもあります。 ● そのため、防じんマスクと保護メガネを着用してください。

	-注意-
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体および切断作業は騒音を発生させます。 ● 過剰な騒音で聴力の低下を招く場合もあります。 ● 耳栓を着用してください。



-注意事項-

● 良好な切断能力を実現し、本体への負担を軽くするために、不具合のないソーブレードのみを使用してください。

● 本体に過度な力を加えないでください。

-注意-

● 作業時には必ず本体を身体から離すようにしてください。

● 必ずブレードが停止してから、本体を作業材料から離してください。

● 必ずブレードが停止してから本体を置いてください。

 	-注意-
	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーブレードは連続動作で高温になります。 ● 高温になったブレードに触れると、やけどの恐れがあります。 ● 保護手袋を着用してください。

7.0 安全な作業 2 3 4

-危険-

本体のプロテクトシューを作業材料に押し当ててください。これにより最適で安全な作業を保証することができます。

-危険-

ソーブレードはストロークサイクル中に作業材料の端から 40 mm 以上突き出る必要があります。これにより、切断中の反動を防止することができます。

-警告-

本体とグリップを常に両手でしっかりと保持してください。本体は必ずハンドガードを取り付けて使用してください。ブレードクランプ/ブレードホルダーのカバーをグリップエリアとして使用しないでください。ブレードクランプ/ブレードホルダーによる怪我の恐れがあります。

7.1 スイッチオン/オフ

1. 電源コードをコンセントに差し込みます。
2. スイッチインターロックを操作して、コントロールスイッチを押します。

7.2 ストローク速度

7.2.1 ストローク速度の調整 7

ストローク速度選択スイッチを回してストローク速度を選択することができます。

コントロールスイッチを押すと、本体が選択したストローク速度で作動します。電子速度コントロールシステムは、負荷時でもほぼ一定の速度を維持します。推奨ストローク速度設定とソーブレードの正しい選択に関する情報は、製品情報と該当するアプリケーション表に記載されています。

7.2.2 ストローク速度の選択

(1 = 低速、6 = 高速)

切断母材	推奨ストローク速度
木材	5-6
釘の入った木材	5-6
内装、間仕切壁	3-4
プラスチック	3-4
鉄	2-3
非鉄金属	2-3
アルミニウム	2-3
ステンレス	1

上記の設定は、最適な切断能力を保証するための推奨値です。パイプカットアダプター（アクセサリ）を使用する場合もこの設定が適用されます。最適な設定は、使用するソーブレード、電圧、本体の使用法により、推奨値と異なる場合があります。

ストローク速度の設定が正しくないと、ソーブレードの摩耗が早まり、本体が損傷することがあります。

7.3 オービタル機能 8

オービタル機能により、木材などの特定の母材で切断能力を高めることができます。オービタル機能をオン／オフするには、停止状態でオービタル機能スイッチを各ポジションに切り替えます。

7.3.1 オービタル機能オフ



オービタル機能オフ。

7.3.2 オービタル機能オン



オービタル機能オン。

7.4 ブランジソーイング 10

ブランジソーイングは、柔らかい母材に対してのみ、オービタル機能オフ状態で使用してください。あらかじめ穴を開けることをしないでブレードを母材に突き刺し、本体を作動させながら切り抜くやり方には、若干の訓練が必要です。ブランジソーイングには必ず短いソーブレードを使用してください。

ブランジカットを開始する時の本体の位置は、次の2通りがあります。

- ノーマル位置
 - リバース位置
1. 本体のプロテクトシューのフロントエッジを母材に当てます。
 2. スイッチインターロックを操作して、コントロールスイッチを押します。
 3. 本体を母材にしっかりと押し付け、本体（プロテクトシュー）を母材の方に傾けながらブランジを開始します。ブレードを母材に接触する前に本体が作動していなければなりません。この状態でなければ本体が停止することがあります。
 4. ブレードが母材を突き抜いたら、本体をノーマル位置に戻し（プロテクトシューの面全体を接触させる）、ラインに沿って切断を続けます。

8. 手入れと保守

不意に始動しないように電源コードをコンセントから抜きます。

8.1 先端工具の手入れ

埃や粉じんを取り除き、腐食を防止するために油を染ませた布で時々ブレードを拭いてください。

8.2 本体の手入れ

- ブレードクランプはいつもきれいにしておいてください。
- 本体には製造時に適切に潤滑油がさされています。長い期間に渡って使用頻度がかかり高い場合は、ヒルティに点検を依頼されることをお勧めします。これにより本体の寿命を延ばし、不必要な修理費用がかからないようにすることができます。
- 本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分とコードスリーブは合成ゴムを使用しています。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。

定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。常に、本体グリップ部分がオイルやグリスで汚れないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

8.3 保守



本体の全ての表面パーツに損傷がないか、また全ての装置が支障なく作動するか定期的に確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、本体を使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

8.4 手入れと保守を行った後の点検

手入れ、保守の作業を済ませた後は、ハンドガードとプロテクトシューが装着され、正常に作動することを確認しなければなりません。

9. 故障かな?と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない	主電源が供給されていない	別の電動工具をつなぎ、作動するか確認する
	電源コードあるいはプラグの故障	修理スペシャリストに点検を依頼し、必要な場合には交換する
	コントロール スイッチの故障	修理スペシャリストに点検を依頼し、必要な場合には交換する
本体機能がフルに発揮されない	延長コードの断面積が適切でない	適切な断面積の延長コードを使用する(「ご使用前に」を参照)
	ストローク速度が低い値に設定されている	ストローク速度選択スイッチを切断する母材に合った値に設定する(「ご使用前に」を参照)
	コントロールスイッチが完全に押されていない	コントロールスイッチを一杯に握りこむ
オービタル機能が反応しない	オービタル機能スイッチが [] に設定されていない	オービタル機能スイッチを [] に設定する オービタル機能は切断中のみ感知できる
ソーブレードをロックングスリーブから取り外せない	ロックングスリーブが一杯まで回されていない	ロックングスリーブを一杯まで回してソーブレードを抜く
プロテクトシューまたはパイプカットアダプターを本体から取り出せない	ソーブレードに引っかかっている	ソーブレードを外し (6.2 を参照) プロテクトシューを取り外す
	ロックボタンが完全に押されていない	ロックボタンを完全に押し、ソーブレードを取り外す

10. 廃棄



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。



EU 諸国のみ

本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準 と各国の法律に基づき、使用済みの電動工具は一般ゴミとは別にして、環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

11. 本体に関するメーカー保証

保証条件に関するご質問は、最寄りのヒルティ代理店・販売店までお問い合わせください。

ja

12. EU 規格の準拠証明 (原本)

名称：	レシプロソー
機種名：	WSR 900-PE/WSR 1250-PE
設計年：	2003/2004

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：

2016年4月19日まで：2004/108/EG、
2016年4月20日以降：2014/30/EU、
2006/42/EG、2011/65/EU、EN 60745-1、
EN 60745-2-11、EN ISO 12100.

**Hilti Aktiengesellschaft, Feldkircherstrasse 100,
FL-9494 Schaan**



Paolo Luccini
Head of BA
Quality and Process Management
Business Area
Electric Tools & Accessories
06/2015

Tassilo Deinzer
Executive Vice President
Business Unit
Power Tools & Accessories
06/2015

技術資料：
Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
ja | 20150922



267746